

鉤子支部の全組員に訴える

日刊 動労千葉

81.1.17
No. 634

国鉄千葉動力車労働組合
千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）品三三二七二〇七

南う動労千葉に結集し、共に進もう！！

※※※※※※※※※※

鉤子支部の全組員の皆さん。
動労千葉は、この間、皆さんとひざを交えた話し合いを数度にわたって行ない、皆さんから様々な意見や意見・不満などをじっくりと聞き、動労千葉からも卒直な意見と動労千葉に結集し、共に進もうと心から訴えてきました。
そして、ここに改めて鉤子支部の全組員の皆さんに問題の核心と動労千葉の考え方を明らかにしたいと思います。

一貫して動労千葉や鉤子支部を破壊しようとしているのは、誰か

動労千葉は、二年前の三月三十日、動労「本部」反動分子による排除の論理と規約規則無視・動労私物化に反対し、三里塚労農連帯、労働運動の原則的立場を守り抜く、ために様々な妨害をはねのけて分離独立を勝ち取りました。

この間の「本部」反動分子の動労の私物化は、目にあまるものがあり、運動的にも「貨物安定宣言」「大胆な妥協」などと公然と屈服と裏切りの方針を提起し、55・10ダイ改や乗務員運用合理化攻撃などに卒先協力し、全国の動労組員の利益を当局に売り渡しているのが実態です。

さらに、動労「本部」反動分子は、こともあるうに、こうした彼らの反動性を真向から批判し、闘い抜いてきたわが動労千葉に対し、国鉄当局に弾圧と処分を要請し、その都度闘いを妨害し、動労千葉破壊策動を行ってきたのです。

動労千葉結成以来、各支部に連日のように何百名と押しかけ、庁舎を破壊し、組合事務所を破壊し、支部旗・支部財産を持ち去るなどあらんかぎりの暴力的襲撃をくりかえしてきたのです。

そして、特に、一昨年四・一七津田沼においては、青竹・カケヤ・パールなどを持って襲撃し、片岡支部長に頭ガイ骨折の重傷を負わせるなど津田沼支部執行部に暴力的襲撃を行ってきました。

さらに、昨年四・一五津田沼においては、八〇春闘拠点破壊のためにヘルメット・竹竿などで武装した二六〇名が襲撃し動労千葉の部隊に押し返されるや布施設部長らへの不当処分を当局に要請したのです。

動労千葉は、こうした国鉄当局・動労「本部」反動分子一体となった組織破壊攻撃を一つ一つはねのけ、各支部の結成と組織的前進を勝ち取り、八〇春闘、55・10ダイ改・乗務員運用合理化阻止

79.4.21新小岩支部結成大会を破壊するため500名もの「本部」反動分子がおし寄せ、枕木を先頭に破壊の限りを尽くした



の闘いを勝利的に闘い抜き、今日81・3ジェット燃料貨車輸送延長阻止の闘いにもむけて前進していきます。

以上のことでも明らかのように、鉤子支部においても、この間、一貫して鉤子支部が動労千葉に結集することを陰に陽に妨害し、鉤子支部の分裂・破壊を策動してきたのが動労「本部」反動分子と一部右翼分子であったことがますます明らかになっていきます。

今こそ勇気をもって
動労千葉に結集し共に進もう

この間のオルグや話し合いの中で明らかとなったことは、「動労千葉に敵対するつもりは全くない」「革マルと一しょにやる気など全くない」「地域や職場の関係で動けない」「……」などというのはいまだ動労千葉に結集していない人たちの大半の理由のようです。

つまり、動労「本部」反動分子と結託した一部右翼分子との地域的・人間関係が最大の問題点となっているのが実態です。

鉤子支部の組員の皆さん。
動労千葉は、心から訴えます。

今こそ、勇気をもって、動労「本部」反動分子と結託した一部右翼分子と訣別し、わが動労千葉に結集し、共に前進しようではありませんか。